

港区まちづくり マスタープラン

意見交換会ニュース vol.1

芝地区

令和7年8月

芝地区で意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。令和7年7月16日には、芝地区の意見交換会を開催しました。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会は、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題や将来ビジョンについてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。次回意見交換会は、12月頃に開催予定です。



当日は、区より、マスタープランの概要や地区の現況等について紹介の後、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

当日の主なご意見

— 芝地区の魅力と課題について、ご意見をいただきました —

土地利用・活用

将来を見据えた開発方針の必要性

- 高輪ゲートウェイシティでは「100年先を見据えたまちづくり」が目指されているが、100年後には人口減少が想定され、開発規模が合理的ではない感じる。文化的価値が高い高輪築堤を保存してほしい。

昔ながらの趣や地区の個性を生かしたまちづくりの必要性

- 昔の趣が薄れ、まちから個性が失われつつあると感じる。慶應仲通りも個性を失いつつある。
- 芝地区は、大使館が多い点、お寺が多い点、有名大学が立地している点など教養があるまち。まちの個性やカラーがもっと出ると面白いまちになる。

道路・交通

交通利便性が高いまち

- 大江戸線、JR、モノレール、路線バス、ちいばすなどがあり、交通の利便性が高い。

田町駅の混雑について

- 田町駅は混雑しており、歩行者デッキの容量が足りないと感じる。

緑・水

みどりや運河沿いの花がきれい

- 緑が多く、近くに運河があるのも良い。運河沿いの花がきれい。

防災・復興

災害時にも安心できるまち

- 海が近いところは魅力もあり、防災面では不安もあるが、このエリアは比較的安全だと感じている。
- 災害時には地区内の宿泊施設を物資や避難場所として利用できるとよいのではないか。
- 古川の地下調節池がある点は安心できる。

景観

日本を代表する景観があるまち

- 竹芝からは、スカイツリーやレインボーブリッジが見え、魅力的な景観スポットである。
- レインボーブリッジを見ながら、芝～竹芝～運河沿い～田町のコースを歩くのが好き。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

外国人居住者、地域の所得格差の広がり

- 高額マンションは外国人居住者が多い。転売目的でマンションが購入されているような状況もある。
- 地区内で所得層別に受けられる生活サービスに差が出てきていると感じる。

公共施設や病院などの施設が充実

- 区内の図書館、ジム、スポーツセンターなどの施設が素晴らしい。病院やクリニックが多い点もありがたい。

独身者向けの支援について

- 高齢者や子育て世代の支援は充実しているが、独身者向けの支援が少ないと感じる。

国際化・観光・文化

高輪築堤は港区の文化として保存

- 高輪築堤は、日本の中でも唯一無二の文化財。区内の歴史資源に位置付けて、保存に取り組んでほしい。

外国人向け住宅や施設増加によるまちの変化

- 最近は街に外国人が増え、芝商店会にも外国人が来るようになった。
- インバウンド向けのホテルが地域に増えており、まちが変わっていると感じる。

